

『横浜マラソン2022』事業計画



2022年1月

横浜マラソン組織委員会

名 称

横浜マラソン2022 (英文名 : YOKOHAMA MARATHON 2022)

開催趣旨

スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

開催日

2022年10月30日(日)
(オンラインマラソン 10月30日(日)～11月13日(日)の15日間)

主 催

横浜マラソン組織委員会

横浜市、神奈川県、(公財)横浜市スポーツ協会、(一社)横浜市陸上競技協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟、(公財)神奈川県スポーツ協会、(一財)神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟、神奈川県スポーツ推進委員連合会、(一社)横浜青年会議所、(公財)よこはまユース、(社福)横浜市リハビリテーション事業団、(公社)横浜市身体障害者団体連合会、横浜商工会議所、(一社)横浜市商店街総連合会、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(一社)横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)横浜みなとみらい21、(株)横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送(株)、(株)アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、(株)テレビ神奈川、(一社)神奈川県バス協会、(一社)神奈川県タクシー協会、(一社)神奈川県トラック協会

プロデューサー

坂本 雄次

主 管

(一社)横浜市陸上競技協会

協 賛
【2021実績】

オフィシャルパートナー

E N E O S株式会社、株式会社ローソン、株式会社アマダ、日産自動車株式会社、アンダーアーマー、株式会社横浜銀行、株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、日清オイリオグループ株式会社、第一生命保険株式会社、東急グループ、アクエリアス、NTT東日本、リストグループ、株式会社ダスキン、株式会社フォトクリエイト、キリンビール株式会社、新港ふ頭客船ターミナル株式会社

横浜サポーター

株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、横浜ベイクォーター、N P O法人おれんじハウス、株式会社キタムラ、S/PARK Studio、フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、ミツハシライス

ジュニアサポーター

よこはまコスモワールド

運営協力

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

協 力
【2021実績】

首都高速道路株式会社、パシフィコ横浜、横浜高速鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、横浜市交通局、横浜市消防局、横浜市水道局、（公財）横浜市緑の協会

後 援
【2021実績】

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会

運営管理

横浜マラソン組織委員会事務局

競技規則

本大会の大会規程および日本陸上競技連盟競技規則を準用する

種 目

- フルマラソン（42.195km）
- みなとみらい7kmラン（約7km）【新規】
- 車いすチャレンジ（約2.5km）
- オンラインマラソン（42.195km）

コース

フルマラソン

※スタート地点が「横浜ランドマークタワー・横浜銀行本店ビル」前となります。

横浜ランドマークタワー・横浜銀行本店ビル～みなとみらい大橋～横浜中央卸売市場本場～パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜税関～山下公園～三溪園・本牧市民公園～根岸駅前～横浜南部市場前(折り返し)～首都高速湾岸線（杉田～本牧ふ頭）～山下公園～大さん橋～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク

みなとみらい7Kmラン

NEW

横浜ランドマークタワー・横浜銀行本店ビル～みなとみらい大橋～横浜中央卸売市場本場～パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク

車いすチャレンジ

パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク

オンラインマラソン

交通ルール・マナーの遵守や新型コロナウイルス感染予防対策を行ったうえで、参加者各自が自由に設定

フルマラソン

2004年（平成16年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソンを6時間以内に完走できる方

みなとみらい7Kmラン

NEW

2007年（平成19年）4月1日以前生まれの方で、約7kmのコースを70分以内に完走できる方

車いすチャレンジ（車いす・付添伴走（介助）可）

2016年（平成28年）4月1日以前生まれの方で、約2.5kmを車いすで60分以内に完走できる方（車いすの仕様には制限はありません。）

オンラインマラソン

2007年（平成19年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソンを開催期間内に完走できる方。

- ※ 感染症対策の観点から様々なオンライン対応が必要になるため、参加にあたっては、スマートフォンのインターネット環境が必須となります。
- ※ 参加にあたり、新型コロナワクチン接種又はPCR検査等による陰性証明書の提出を必須とします。詳細は調整中です。（オンラインマラソン除く）

参加資格

募集人数
及び参加料金

(1) 種目及び募集人数等

2022大会では、より気軽に横浜マラソンに参加し、みなとみらいの魅力を感じていただける「みなとみらい7kmラン」を新設します。

種目	2022大会 フルマラソン23,000人		2021大会 フルマラソン20,000人	
	募集人数	参加料金※1	募集人数	参加料金
フルマラソン				
女性ランナー枠	6,000人	20,000円	6,000人	23,000円
地元優先枠	横浜市民枠	2,000人	2,000人	23,000円
	神奈川県民枠	1,000人	1,000人	23,000円
一般枠 ※2	12,600人	20,000円	9,800人	23,000円
チャレンジ枠 ※3	500人	20,000円	500人	23,000円
チャリティ枠 ※4	400人	55,000円 (参加料金含む)	200人	58,000円 (参加料金含む)
ふるさと納税枠 ※5	500人	120,000円 (参加料金含む)	500人	123,000円 (参加料金含む)
フルマラソン小計 ※6	23,000人			
●2km (車いす)	100人	4,500円	100人	4,500円
●みなとみらい7kmラン【新規】	2,000人	5,000円	-	-
●オンラインマラソン	3,000人	5,000円	8,000人	5,000円
合 計	28,100人		28,100人	

- ※1 参加人数の増員により、参加料金（税込）を改定
- ※2 「女性ランナー優先枠」・「地元優先枠」の落選者は自動的に一般枠の抽選に移行
- ※3 横浜マラソンへの参加機会を提供することで、ランニング等のスポーツを習慣化してもらうことを目的とした枠
- ※4 チャリティ団体については、支援の輪を広げ、チャリティ文化の普及を目指すために、寄付先団体を公募
- ※5 横浜市へのふるさと納税となるため、横浜市外に在住の方が対象
- ※6 フルマラソンの募集人数に満たない場合は、主催者の判断により大会を中止とする場合があります。

(2) 優先エントリー

「横浜マラソン2021」のフルマラソン及び車いすチャレンジ中止に伴い、大会にエントリーしていただいたランナー全員に、2022大会の優先出走権（希望制・有償）を付与いたします。

【募集期間】2022年4月7日（木）～4月21日（木） ※インターネット申込

(3) 一般公募エントリー

前述の「優先枠エントリー」の募集締切後、フルマラソン及び車いすチャレンジでエントリーされなかった人数分を一般枠等の募集人数とします。

【募集期間】2022年4月26日（火）～5月17日（火） ※インターネット申込

スケジュール

主なスケジュール			判断内容
2022年 1月	下旬	組織委員会開催	
		①横浜マラソン2021事業報告・収支決算 ②横浜マラソン2022事業計画・収支予算	
3月	下旬	募集要項公表	
		ボランティアリーダー募集開始	
4月	月上旬	判断期日（エントリー開始前）	・開催可否・コース ・参加者数・参加料金
		優先エントリー開始	
		一般ボランティア募集開始	
	下旬	優先エントリー締切	
		○女性・地元・一般・チャリティ枠・ふるさと納税枠・7km枠・ 車いすチャレンジ枠エントリー開始 ●オンラインマラソン枠エントリー開始	
5月	中旬	○女性・地元・一般・7km枠・車いすチャレンジ枠エントリー締切	
	下旬	判断期日（当落発表前） ○女性・地元枠エントリー当落通知入金開始	・開催可否
6月	月上旬	○女性・地元枠エントリー入金締切	
	中旬	○一般枠・7km枠・車いすチャレンジ枠エントリー当落通知・入金開始	
	下旬	○一般枠・7km枠・車いすチャレンジ枠エントリー入金締切 判断期日（開催4か月前）	・開催可否
7月	中旬	プレイベント チャレンジ枠エントリー締切	
	下旬	判断期日（開催3か月前）	・開催可否
8月	下旬	判断期日（開催2か月前）	・開催可否
9月	下旬	判断期日（開催1か月前）	・開催可否
		大会プログラムや参加賞、ゼッケン等の送付	
10月	月上旬	参加者案内の配信開始	
	中旬	ボランティアリーダー研修会開催、ボランティアウエア等の送付	
		横浜マラソン2022オンラインEXPO開催（約2週間）	
		オンライン受付後、健康チェックID付与	
	16日	判断期日（開催2週間前）	・開催可否
	23日	判断期日（開催1週間前）	・開催可否
	29日	判断期日（開催前日）	・開催可否
	30日	判断期日（開催当日）	・開催可否
30日	●オンラインマラソン開催日（2週間）		
30日	「横浜マラソン2022」開催日		
11月		●オンラインマラソン終了 関連イベント	
12月			

感染症対策

参加者や大会に携わる関係者、市民の安全を確保するために、日本陸上競技連盟のロードレース開催についてのガイダンスに基づき、国・神奈川県・横浜市や感染症専門家の意見を踏まえた上で、安全・安心な大会運営を行います。

感染症対策3つのポイント

- ① 手荷物預り・更衣会場を複数箇所とし、ソーシャルディスタンスを確保します。
- ② スタート地点を「横浜ランドマークタワー・横浜銀行本店ビル前」とすることにより、スタート待機場所をより広く確保します。また、ブロックスタートおよびネットタイム計測を導入します。
- ③ 健康管理アプリ等のデジタル技術を活用します。

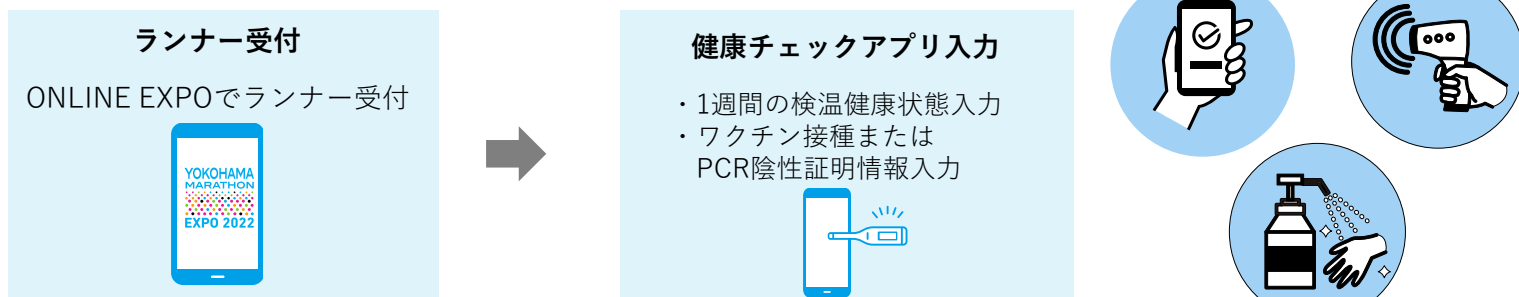
【手荷物預かり・更衣室会場及びスタート待機列図】



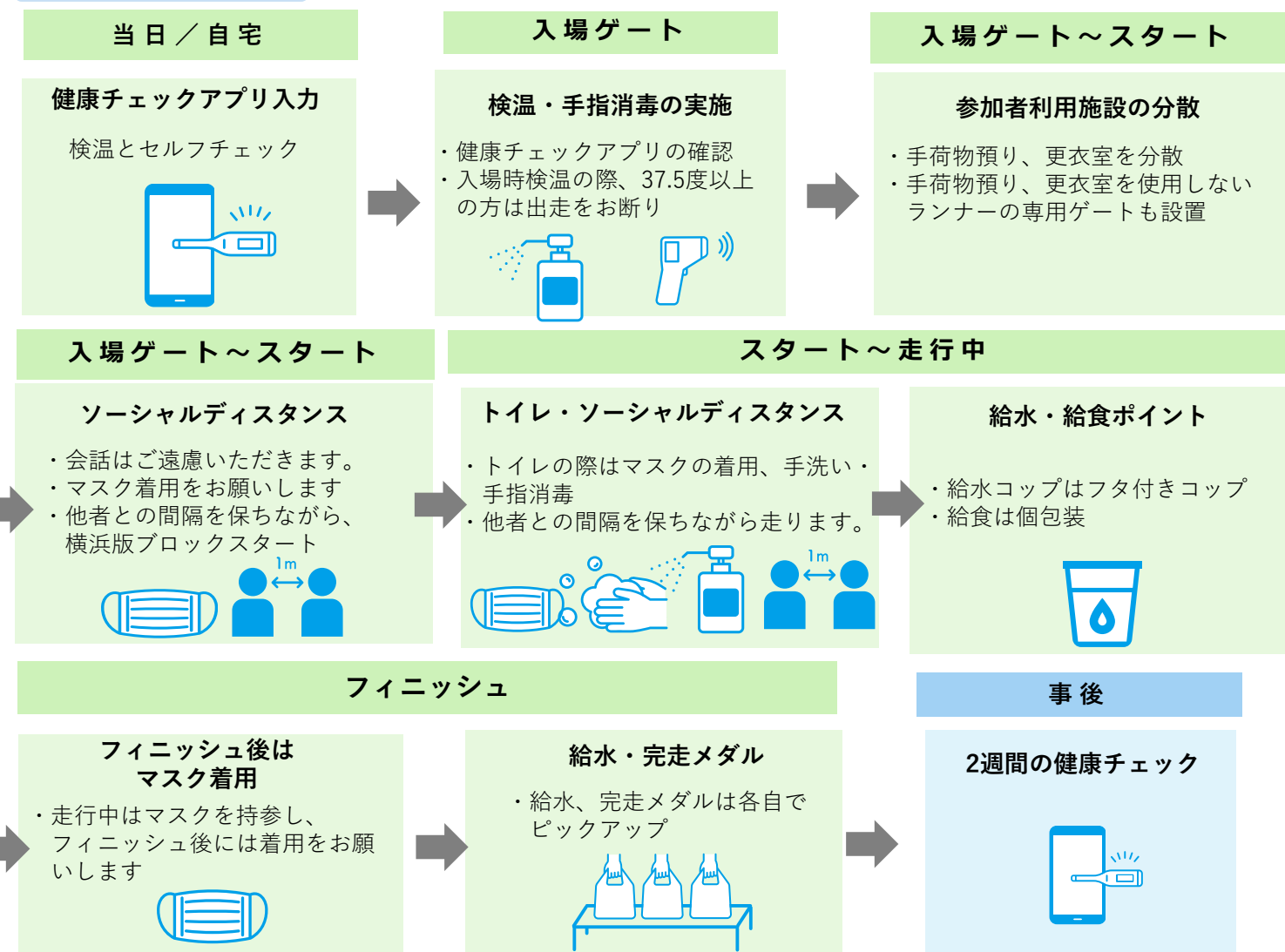
感染症対策

参加者（来場者）には、手指消毒・検温・マスク着用などの基本対策にあわせて、場面に応じた対策に取り組んでいきます。
※感染症拡大の状況により、変更になる場合があります。

大会開催前の取組み



大会開催当日の取組み



【沿道応援対応】

○沿道での観戦・応援の自粛をお願いするとともに、コース沿道では注意喚起を、イラストサインを用いて一目でわかるように掲示します。

【関係者の対策】

○ボランティア、協力会社、事務局スタッフもオンラインを活用した健康チェックを徹底します。

【感染者または感染疑い者発生対応】

○横浜市健康福祉局作成の新型コロナウイルス感染症の基本的な流れに沿って対応します。

スタート時刻等

種 目	スタート時刻	制限時間
フルマラソン	8時30分	6時間30分
みなとみらい7kmラン	8時30分	70分
車いすチャレンジ	9時40分	60分

関門閉鎖時刻
【2021実績】

コース上に関門地点を設置し、関門時刻に関門を通過していない選手は失格とします。

	場所	関門距離 (km)	関門時刻		場所	関門距離 (km)	関門時刻
第1関門	けいゆう病院付近	4.1	9:35	第7関門	首都高56.1KP	23.3	12:04
第2関門	マリインタワー前付近	6.7	9:54	第8関門	首都高51.5KP	27.9	12:44
第3関門	本牧陸橋付近	10.8	10:24	第9関門	シンボルタワー折返し	34.5	13:44
第4関門	プールセンター入口	14.8	10:55	第10関門	マリインタワー前付近	38.9	14:25
第5関門	新森町高架橋付近	17.5	11:16	第11関門	赤レンガ倉庫付近	40.2	14:39
第6関門	横浜南部市場付近	20.2	11:38	フィニッシュ関門	フィニッシュゲート	42.195	15:00

*みなとみらい7kmランの関門は、第1関門（けいゆう病院付近）およびフィニッシュゲートの設置となります。

事前
ランナー受付

日 程

2022年10月14日（金）～22日（土）（オンラインEXPO開催の最初の1週間程度）

方 法

- ①オンラインEXPOに参加し、受付登録を行います。
- ②登録完了した方に健康チェックIDが付与されます。
- ③ゼッケンや参加賞等については、10月上旬より発送を開始します。

健康チェック

日 程

2022年10月23日（日）～30日（日）（大会当日1週間前から実施）

2022年10月31日（月）～11月13日（日）（大会終了後2週間実施）

方 法

- ①ランナーは、オンラインEXPOで取得したIDにより健康チェックアプリにログインし、1週間前からの健康状況を入力します。
- ②大会終了後も2週間アプリを利用し、健康状態を入力します。



当日
ランナー受付

日 程

2022年10月30日（日）7時00分～8時00分

方 法

- ①1週間前から前日までの健康管理アプリへの体温・体調などの入力により、異常値等の問題がない場合は「チェック済み」の目印やQRコードが表示されます。
- ②会場入り口にて「チェック済み」を確認するとともに、当日の体温チェックも行います。

オンライン
マラソン

日 程

2022年10月30日（日）～11月13日（日）

方 法

- ①オンラインEXPOに参加し、受付登録を行います。
- ②アプリ連携を行います。
- ③2週間で42.195km走ります。走った距離をアプリ内で申請します。

PR

2022大会は、インターネットTVによる6時間の生中継を予定しております。インターネット環境があれば、全国どこでも視聴可能となることで、PRを図ります。「大会応援ゲスト」についても、中継の企画と連動させながら、ランナーのみならずインターネットTVの視聴者も含めた、大会の盛り上げを行います。

【2019実績】（2020、2021大会は中止により応援ゲスト等を設定しておりません。）

大会応援ゲスト

谷原章介：横浜市出身 俳優
長谷川理恵：神奈川県出身 モデル

コース上企画

ラッキー給食・給水パフォーマンス

ランナーの楽しみである「ラッキー給食」及び「給水パフォーマンス」は、横浜マラソンの特色です。感染症対策を行いながら、実施を検討します。

ラッキー給食

楽しみながらゴールを目指していただくため、「食べられたらラッキー♪」というコンセプトの横浜マラソン名物『ラッキー給食』。感染症対策を実施し、取り組みます。

給水
パフォーマンス

各給水所で実施してきた「ランナーを元気づける」をコンセプトにした応援パフォーマンス。今年は、万全の感染症対策を行った上での実施を予定しています。



主催イベント

プレイベント

「横浜マラソン2022」の開催機運を盛り上げるため、また、本大会開催に向けた感染症対策のテストイベントとして、プレイベントを実施します。

【開催予定】 2022年7月 ※内容及び会場は調整中

併催イベント

10月
中旬



横浜マラソン
ONLINE EXPO 2022

「横浜マラソンONLINE EXPO2022」は、オンラインで2週間程度の開催を予定します。オンラインでの利点として、今まで参加が難しかった全国のランナーと長期に渡るコミュニケーションが可能となります。展示販売などの誰もが楽しめる映像配信を中心とした企画や様々なブースを展開し、大会の機運を盛り上げ、横浜・神奈川の魅力を発信します。



10月
下旬



横浜マラソンフェスタ2022

メイン会場を中心に「横浜マラソンフェスタ」を開催します。走り終えたランナーや観客の皆様をおもてなしします。

※感染症の拡大状況により実施を検討します。



連携企画

チャレンジ枠対象事業

多くの市民等にランニングを習慣にいただき、一層の健康増進と体力の向上を推進するとともに、大会に向けた機運醸成を図るため、横浜マラソンの出走権（参加料金/有料）を付与する「チャレンジ枠対象事業」を実施します。

【対象事業】

■各区事業（主催、共催又は後援）

区民マラソン大会やランニング教室の修了者、その他これらに準ずる事業（オンライン含む）及び対象者

■各スポーツセンター事業

ランニング教室の修了者、その他これに準ずる事業の対象者

■横浜マラソン組織委員会事務局が主催または認めた事業

マラソン大会の上位入賞者・完走者、ランニング教室の修了者、その他これらに準ずる事業及び対象者

SDGsの取組

SDGs未来都市「横浜」として



持続可能な開発目標(SDGs)の視点を踏まえ、
サステナブルな大会運営の向上に取り組みます。

2022年はSDGsへの取り組みをより強化すべく、引き続き「5つのP[※]」のうち、特に3つのPに着目し、横浜市SDGsデザインセンターのプロジェクトパートナーとして、SDGsを推進していきます。2022大会も「豊かな自然のもとで、すべての人が健康に暮らし、協力し合える世界」の実現に寄与することを目指します。

People【人間】



ランニングイベント実施による
健康人口の増加

大会本番前に、関連のランニングイベントを実施。国籍、性別、障がいの有無に関わらず、さまざまな人が参加できるイベントの間口を広げることで、市民の健康人口増加に貢献します。また、ランニングイベントに付随して、ランニング前後のケアやフォームの指導を行うクリニックの実施、体力測定のコナール設置などを行い、健康啓発につなげます。



女性ランナーにも配慮した
大会運営

女性のスポーツへの参加を促し、女性のスポーツ実施率向上に寄与することを目的に、2019大会は、参加者の約1/3にあたる10,000人を女性枠として設定しました。大会では、女性を対象にした関連イベント・キャンペーンの実施や、女性に優しいEXPOでのブースづくり、大会当日のパウダールームの設置などを行います。また、更衣室などLGBTQの方にも配慮した大会の運営設計を行います。

Planet【地球】



給水所でのごみ削減の取り組み

給水所でのごみ捨てマナー改善を呼びかけ、コース上でもボランティアスタッフが回収・分別を行うことで、ランナーに提供する飲料容器などのごみ削減だけでなく、リサイクルの仕組みを構築します。また、給水・給食で余った飲料・食品は、フードバンクを通じて福祉施設、生活困窮者支援団体及び子ども食堂等に寄付することで無駄な廃棄の削減につなげます。その他、これまで紙面でご案内していた内容をデジタルに切り替えるなど環境負荷低減を図ります。



横浜のランニングコースを守る
ごみ拾いイベントの実施

横浜の海を守る、そしてシーサイドの横浜らしいランニングコースを守るため、ごみ拾いを実施します。事前のプレイベント終了後に、参加ランナーと共にイベント形式で実施することで、参加者ランナーへの環境配慮の呼びかけを行い、「ごみを捨てない」意識を培うことで、大会当日のごみ捨てマナーの改善・市民の意識改革へつなげていきます。

Partnership【パートナーシップ】



デジタル技術を活用した企画で
参加者の裾野を拡大

横浜マラソン2022では、2020年と2021年で培ったONLINE企画を強化し、さらに最新のデジタル技術を取り入れることで、今までとは違う層の参加者を取り込み、新しい時代の大会を作り上げていきます。また、パートナー企業や協力会社の皆様とのつながりを持って一歩進んだ大会を目指していきます。「横浜を走る」魅力を広げ、環境配慮型のマラソン大会として、世界への発信をより一層広げていく施策に取り組みます。

横浜市SDGs認証制度

Y-SDGs
- standard -



（横浜市SDGs認証制度 / 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。）

大会コース

【参考】フルマラソン (42.195 km) 【2021大会コース】



より安全・安心なマラソンスタートを行うため、2022大会はスタート地点を横浜ランドマークタワー・横浜銀行本店ビル前とすることを検討しています。

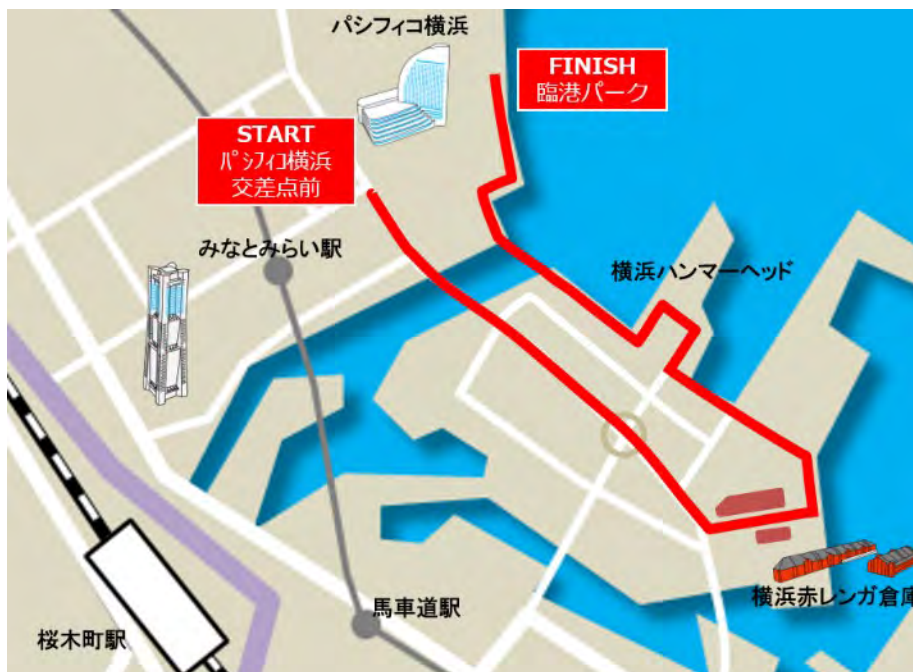
また、本牧ふ頭周辺のコースについて、今後の工事などの影響によりコースの一部変更を行う場合があります。

大会コース

みなとみらい7kmラン



車いすチャレンジ (約2.5 km)



【2021実績】

オフィシャルパートナー

プラチナパートナー（1社）



ゴールドパートナー（4社）



シルバーパートナー（8社）



ブロンズパートナー（5社）



横浜サポーター

株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、横浜ベイクォーター、NPO法人おれんじハウス、株式会社キタムラ、S/PARK Studio、フクダ電子株式会社、株式会社城山、株式会社野毛印刷社、プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、ミツハシライス

<横浜ジュニアサポーター> 泉陽興業株式会社 よこはまコスモワールド

「横浜マラソン2022」収支予算

(2022年1月1日～2022年12月31日)

収 入	901,311,779円
支 出	901,311,779円
差 額	0円

【 収 入 】

【単位：円】

	費 目	2022大会	2021大会	増 減	備 考
1	参加料金及び協賛金	754,111,200	779,697,000	▲25,585,800	参加料金、協賛金収入の減少による減
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	横浜市：100,000,000円 神奈川県：30,000,000円
3	その他	500,000	500,000	0	ロゴ使用料、銀行利息等
	小計	884,611,200	910,197,000	▲25,585,800	
	前大会繰越金	16,700,579	13,415,395	3,285,184	
	合計	901,311,779	923,612,395	▲22,300,616	

※2022大会の自治体負担金については横浜市及び神奈川県の予算成立を前提として計上しています。

【 支 出 】

【単位：円】

	費 目	2022大会	2021大会	増 減	備 考
1	広報・イベント費	109,385,500	123,015,000	▲13,629,500	紙媒体のデジタル化による減
2	安全対策費	350,996,000	351,201,000	▲205,000	
3	大会運営費	343,851,700	356,330,000	▲12,478,300	設備等の見直しによる減
4	システム関係費	35,490,000	33,414,000	2,076,000	参加者数の増加による増
5	事務局経費	37,888,000	39,237,000	▲1,349,000	契約内容見直しによる減
6	予備費	7,000,000	7,000,000	0	
	小計	884,611,200	910,197,000	▲25,585,800	
	次大会繰越金	16,700,579	13,415,395	3,285,184	
	合計	901,311,779	923,612,395	▲22,300,616	